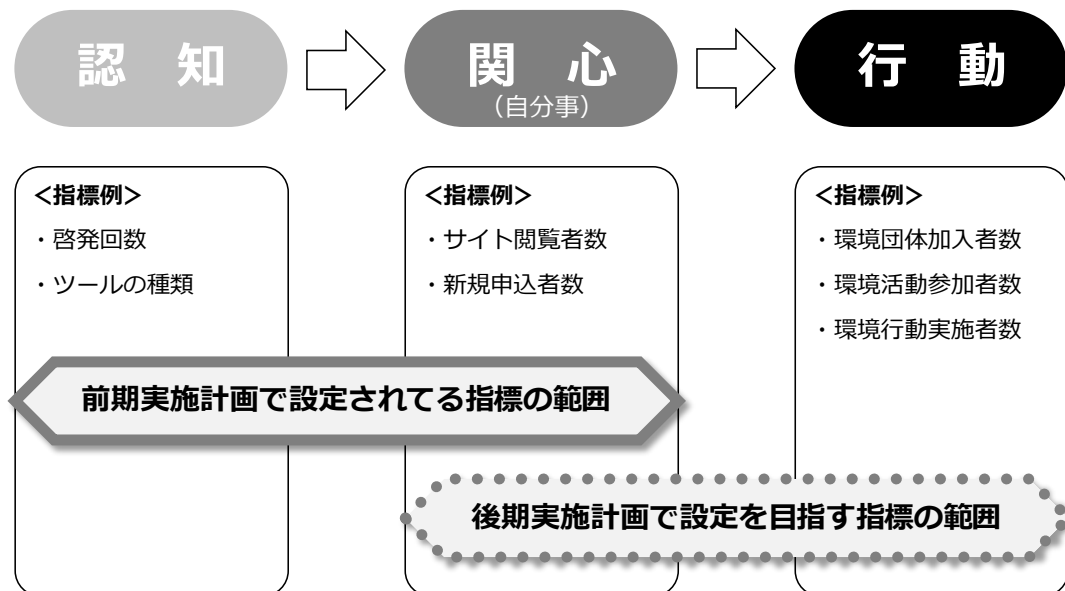


後期実施計画での指標設定の方向性

現行の前期実施計画では、第 3 次計画「活動の輪」を新たな基本目標に加えたことに鑑み、人間が「行動」を起こすまでの「心理プロセス（認知→関心→行動）」のうち、「認知」と「関心」に重きを置いた指標設定がなされています。

しかし、基本目標のうち、「自然環境」、「生活環境」、「地球環境」の各分野においては、実践的な「行動」を促進することが肝要とも言えますので、後期実施計画において指標設定を検討する際には、できるだけ「行動」に指標を設定するとともに、「活動指標（インプット型）」から「成果指標（アウトプット・アウトカム型）」への転換を目指します。



また、「地球環境」分野において、「マイエコ 10 宣言」については、前計画において、コロナ禍の影響からイベントでの実施が不能になったことを受け、小中学校の児童生徒を対象とした環境行動の把握にシフトすることとし、現行計画においては、「子どもたちの地球温暖化防止行動を促進」するにあたっての指標に位置付けておりますが、より多くの実施主体の「行動」の状況の把握に努め、後期実施計画での新たな指標に設定できるよう準備を進めてまいります。

なお、「マイエコ 10 宣言」については、「COOL CHOICE」から「デコ活」への移行に際し、神奈川県が「マイエコ 10 宣言」の実施を取りやめることとしたため、国や県の動向を注視し、今後の指標設定を検討いたします。